

## 令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 11

EBPM 推進のための政策の効果検証設計（リサーチデザイン）

### 1. 解決したい課題の内容

近年、行政機関が行う政策の評価に関して、EBPM（Evidence Based Policy Making; 証拠に基づく政策立案）の取組が進んでいる。浜松市においても、市の最上位計画である総合計画として、浜松市未来ビジョン（基本構想）及び第1次推進プラン（基本計画）を策定しており、基本構想は2015年度から2044年度までの30年間を計画期間として策定され、基本計画では未来ビジョンの実現に向けて、長期的な展望に立ち、2015年度から2024年度までの10年間の総合的な政策を定めている。

現在同市では、次期基本計画（2025～2035年度）で定める政策の効果を測るため、政策の実施前に測定方法や必要となるデータの収集方法などの設計を行うことが重要と考えている。しかし、実際に政策の効果を評価する際には、政策によるものなのか、その他の社会環境の変化による影響なのか等、要因の検証を行うことが難しい場合がある。次期基本計画において、政策とその効果間の因果関係を示す証拠が強く求められ、かつその把握が可能である重要政策の効果を論理的に説明できる手法が求められる。

### 2. 実現したい目標について

政策の実施後に本来期待された効果（アウトカム）が発現したか、または政策の有無によって効果に違いが出るかなどを検証するための手法や、効果測定に必要なサンプルサイズ、データの収集・追跡方法等の有無などについて、適切な手法を確立する。例：学習支援事業による学力・進学率の向上、補助金交付制度による移住者増加など

### 3. 必要とする技術について（空欄でも可）

- ・データ分析、効果検証の手法に関する専門的な知見
- ・各分野の政策に関する知見

### 4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

・過去の基本計画を基に2023年10月から2024年9月までに一定の成果を出し、次期基本計画案に反映する。

### 5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・浜松市「浜松市総合計画」

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/totalplan2015/index.html>